

■先進自治体の調査結果一覧表【評価手法】

参考資料3

評価手法の観点	秋田県	埼玉県	三重県	沖縄県	川崎市
評価タイミング(例:1年ごとの進捗を毎年評価する、計画期間の最後に評価する)	・年次。	・年次。 ・昨年4月から始まった5年間の計画。第1回の評価は3月に実施する予定。	・年次(全庁的な政策評価制度による)。 ・それ以外に三重県スポーツ推進審議会により毎年2-3回スポーツ振興計画の評価を実施。	・中間評価と最終評価を実施する予定。 ※原則として、中間年次(平成28年)の年度末までの実績及び目標年次(平成33年)の前年度末までの実績を対象として評価を実施。 ※施策を形成する事業の評価は全庁的な政策評価制度によりは年次で行い、事業と施策の関係性を検証。	・計画期間中に市民アンケートを複数回実施し、スポーツ推進計画が市民へもたらした効果を定期的に把握していく。 ・計画に位置付けた個々の事業については、市の総合計画における政策評価制度を活用し進捗管理を行っている。
評価者(例:担当者による評価、外部有識者による評価)	・各担当課が一次評価を行い、それをスポーツ振興課が確認。 ・その評価結果を秋田県スポーツ推進審議会が評価。	・一次評価は各担当課が行う。 ・スポーツ基本法に基づくスポーツ推進審議会を設置しており、年2回の定例会を開催している。その2回目、審議会メンバーによる評価を行う。	・一次評価は各担当課が行う。 ・計画の目標値、それに対する取組状況は、三重県スポーツ推進審議会において報告、審議されている。	・スポーツ振興課が評価基準に則り、基礎評価(一次評価)を行った上で、沖縄県スポーツ推進審議会に結果を提示し、意見を求める。	・市民アンケートの結果をスポーツ主管課で分析し、庁内関係部署やスポーツ推進審議会と協議しながら評価していく予定。
指標及び目標値設定の主体	・指標や目標値の設定は各担当課が行う。	・指標や目標値の設定は各担当課が行う。 ・スポーツ推進計画(P.43)に参考資料として指標や目標値設定の考え方を記載している。	・指標や目標値の設定は各担当課が行う。	・指標や目標値の設定は各担当課が行う。 ・現状値をベースに一定の割合だけ増加するという考え方で設定する指標と、国の数値などを参考に10年後の目標値を設定して、そこから遡って中間評価年次の目標値を設定している指標がある。	・指標はスポーツ推進審議会での審議を経たうえでスポーツ主管課が設定した。 ・指標の数値に関して、「目指すべきもの」と「推移を迫るもの」という捉え方があると思うが、市のスポーツ政策の考え方としては後者。よって現段階では目標値は設定していない。
評価のフィードバック方法(評価をどのように活用するか)	・評価結果を次年度の事業内容等に反映させている。 ・年次の評価結果を、スポーツ振興基本計画の内容や指標等に反映することは行っていないが、次期計画に反映させた。	・評価結果はその後の事業の実施方法に反映する。 ・予算指置が必要なものについて、予算編成は秋から始まるため、当該年度末に実施する評価結果の直接的反映は困難。計画の進捗状況を常に把握し、先を見越した事業展開が必要。	・三重県スポーツ推進審議会における指摘、意見を踏まえて、次年度以降に取組むべき課題、対応策を検討して、予算に反映させている。	・施策の達成度をもとに、施策の見直し、計画の見直しについて検討する。 ・上位計画「沖縄21世紀ビジョン基本計画」に基づく、「沖縄21世紀ビジョン実施計画」のPDCAサイクルに合わせて、見直しを行う。	・アンケート結果の評価に基づき、新たな事業の企画立案や既存の事務事業の修正などに活用していく予定。 ・状況により計画の見直し、改訂版を作成する可能性もある。
評価結果の示し方(計画上の施策体系とどう関連づけているか等)	・各施策項目別、年度別に実施状況と進捗状況(上回った、計画通り、下回った)を記載。当資料は審議会に提出しているが、一般には非公表としている。	・スポーツ推進計画の上位計画として埼玉県教育振興基本計画がある。そのため、教育振興基本計画の評価の手法に倣う。 ・各取組の実施状況を詳細に把握した上、そのうちの重点取組事項と最新の指標値をまとめたものをスポーツ推進審議会に提出して評価を実施する予定。 ・今回は初回の評価機会であるため、提出資料の作成方法や評価の実施方法に対して審議会から指示や意見があれば、今後それに従い改善を図る。 ・審議会に提出した資料と、審議会委員による評価・意見をまとめ、ホームページ等で公表する予定。	・推進計画に示されている各指標は、県の事務事業評価の指標と共通しており、事務事業評価においても成果の達成度の評価が行われている。ただし、上記の通り各指標は三重県スポーツ推進審議会においても審議されており、外部、専門知識を持つ有識者等の意見を踏まえた評価が実施されている。 ・各指標の目標値と実績は年度別の「成果レポート」にて公表されている。	・以下の項目を事務事業評価の調査として整理する。 ○成果指標とその概要 ○達成状況 ・進捗状況の経年値の把握 ・課題と今後の取組の方向性 ○スポーツ推進審議会委員の意見等	・市民アンケートの結果は公表する。 ・計画の見直し、改訂版を作成した場合は公表する。 ・個別の事務事業の状況については、市の総合計画における政策評価制度の結果を毎年公表している。
その他、特記すべき事項(評価を行う上での工夫等)	・現行計画は平成25年度が最終年であり、次期計画策定中。 ・スポーツ政策に限らず単年度評価(必ずしも単年度での評価結果が次に生かせるわけではない)の難しさはある。 ・あくまで施策レベルの進行管理であり、例えばスポーツ振興基本計画P.13にある「成人の割合60%」という目標に対する実績を資料では記載していない。(データとしてはもっている) ・次期計画は素案までは出来ている状況。国の基本計画と表現等をそろえた上で、これまでの評価も反映させながら県独自の政策を追加する予定。	・平成25年1月に策定された計画なので、東京オリンピック等に関する記載はない。今後、それを改めて県のスポーツ推進計画に位置付けるかどうか、検討する必要がある。 ・計画についても、初年度で担当者の意識も高く、順調である。 ・評価についてはまだ始まったばかりなので、今後の検討課題。	・スポーツ分野の成果は数値化が難しい。取組が成果につながりにくい点や、指標の改善が内容、質の向上を伴わないような場合があり、難しい。 ・スポーツ推進計画において設定されている指標は、県の事務事業評価と同じものが設定されている。	・数値目標を設定しているが、結果がすぐに出ない場合や指標の数値が下がった場合に、その要因や課題を分析して、次の施策につなげる必要がある。 ・事業の成果と課題の達成度が1対1の関係になっておらず、どの事業が施策目標の達成に影響があったか分かりにくい。事業の成果は出ていても、施策目標達成につながっていないか、逆に事業の成果が出ていないが施策目標が達成できている場合など、何が要因なのかを分析することが必要である。 ・スポーツはすぐに成果が出ないこと、縦割りで目標達成のための事業展開ができないことに留意することが必要。	・基本的にスポーツ推進計画に記載された施策体系に基づく施策・事業は全て総合計画に何らかの形でマッピングされており、評価は全庁的な政策評価制度を活用している(スポーツ推進計画の施策体系に基づく個別の評価は実施していない)。 ・スポーツに触れること自体に価値があり、という考え方が必要である。 ・スポーツをする・みる・支えるのいずれかを行っている「総人口参画率」という指標を設定した。
ヒアリング先・手法	スポーツ振興課・対面ヒアリング	スポーツ振興課・電話ヒアリング	スポーツ推進課・電話ヒアリング	スポーツ振興課・電話ヒアリング	市民スポーツ室・対面ヒアリング

■先進自治体の調査結果一覧表【評価指標】

アウトプット指標と考えられるもの  
 アウトカム指標と考えられるもの

参考資料3

スポーツ基本計画 における施策 (政策課題)	北海道		秋田県		埼玉県		三重県		沖縄県		川崎市	
	指標(単位)	指標の対象・参考値	指標(単位)	選定理由・算出方法	指標(単位)	選定理由・算出方法	指標(単位)	選定理由・算出方法	指標(単位)	選定理由・算出方法	指標(単位)	選定理由・算出方法
1.学校と地域における子どもたちのスポーツ機会の充実	■子どもの体力が本道の昭和60年頃の水準を上回る(秒/m)	対象/50M走/ボール投げ (基準値:昭和60年度) ・小学校5年男子/9.40秒/29.10m ・小学校5年女子/9.60秒/17.60m ・中学校2年男子/8.20秒/22.60m ・中学校2年女子/9.00秒/15.30m  <現状(平成24年度)> ・小学校5年男子/9.59秒/24.19m ・小学校5年女子/9.82秒/14.24m ・中学校2年男子/8.17秒/20.83m ・中学校2年女子/9.14秒/12.25m	■新体力テストにおける握力・持久走・立ち幅跳びなどの項目について、全国平均より優れている項目の割合が、70%台以上となるよう維持・向上を図る。	【算出方法】 子どもの体力については、「平成21年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査」(文部科学省による小学校5年生、中学校2年生、高等学校1年生の調査)の結果では、本県児童生徒の体力合計点は前年に比べて全国トップクラスであることが示された。また、これまで県が独自に行ってきた、新体力テストの調査・分析においても、秋田県平均が全国平均を上回っている項目の割合は、平成21年度小学校・中学校・高校の全体として、80.4%(小学校87.5%、中学校75.9%、高等学校72.2%)である。	■体力テストの5段階絶対評価で上位3段階の児童・生徒の割合(%)	【算出方法】 各学校で実施している体力テストの各種目の記録を得点化し、その合計を5段階絶対評価した上位3段階に入る児童・生徒の割合。  【選定理由】 客観的な基準により体力向上の状況を示す数値であることから、この指標を選定。	■新体力テストの総合評価が「A」・「B」・「C」の子どもの割合(%)	【算出方法】 新体力テストの総合評価は、8テスト項目(中略)の測定により実施されます。総合評価は、これら8テスト項目の測定結果を項目別得点表によりそれぞれ採点し、すべての項目の合計得点を男女別・年齢(学年)別に定められた総合評価基準表に当てはめ、体力合計点が高い「A」から、体力合計点が高い「E」までの5段階に評価されます。体力合計点が高く、総合評価が「D」・「E」と評価される子どもたちが減少し、総合評価が「A」・「B」・「C」と評価される子どもたちが増加することを目標としました。  【選定理由】 第6次計画の目標項目は「体力テストの調査項目が全国平均以上の割合」として、全国平均と三重県平均を比較していましたが、相対的な指標であり、他府県の動向が多分に影響するため変更しました。	■体力・運動能力テスト結果(点)	【算出方法】 体力・運動能力テストの結果(全国平均値を50、標準偏差を10としたT-スコア)を指標としている。H23実績値は48.1。	該当なし	—
2.若者のスポーツ参加機会の拡充や高齢者の体力づくり支援等のライフステージに応じたスポーツ活動の推進	■本道の成人の週1回以上のスポーツ実施率65%以上(%)	<現状(平成24年度)> 週1回以上の実施率 62% 週3回以上の実施率 24%	■生活習慣として、1週間以上運動する成人の割合を60%とするなど、身近で自分に適した運動を行う人の増加を図る。	【算出方法】 県の「健康づくりに関する調査」(平成18年度)等によると、「1週間以上2回以上運動」と回答した人が44.9%と微増、「一人当たりの1日の平均歩数」は6,217歩と減少傾向である。運動しない理由としては、「時間に余裕がない」・「仕事等の疲れ」が多くなっている。また、「健康であるという意識」は低下しており、高齢になるほどその傾向が顕著である。	■週に1回以上スポーツをする20歳以上の県民の割合(%)	【算出方法】 県政世論調査において、「ウォーキングや軽い体操、レクリエーション活動、スポーツ運動などを含めて、スポーツを週に1回以上行っている」と回答した人の割合。  【選定理由】 スポーツを推進する取組の成果を示す数値であることから、この指標を選定。	該当なし	—	■成人のスポーツ実施率(%)	【算出方法】 1回の運動時間を「30分以上」とし、「県民の体力・スポーツに関する意識調査」に基づき以下のデータを収集。 ①週に3日以上 ②週に2日程度 ③週に1日程度 ④月に1~3日程度 ⑤3か月に1~2日程度 ⑥年に1~3日程度 ⑦わからない ⑧運動やスポーツはしなかった このうち、①~③を成果指標として設定している。	■週1回以上のスポーツ実施率(%)	【算出方法】 市民アンケートによる。  【選定理由】 市民のスポーツへの関わり方を示す「する・観る・支える」の各種データとともに、どのような関わり方であってもスポーツに関わることで自身体が楽しいものであり貴重なものであるとの考え方から、市民のスポーツへの参画状況を示す総合的なデータとして「スポーツ総人口参画率」(一定の頻度以上、する・観る・支えるのいずれかの形でスポーツに関わっている市民の割合)を選定した。
											■年1回以上の直接観戦率(%)	
											■年1回以上のスポーツボランティア活動参加率(%)	
											■スポーツ総人口参画率(%)	

■先進自治体の調査結果一覧表【評価指標】

■ :アウトプット指標と考えられるもの  
 ■ :アウトカム指標と考えられるもの

参考資料3

スポーツ基本計画における施策(政策課題)	北海道		秋田県		埼玉県		三重県		沖縄県		川崎市	
	指標(単位)	指標の対象・参考値	指標(単位)	選定理由・算出方法	指標(単位)	選定理由・算出方法	指標(単位)	選定理由・算出方法	指標(単位)	選定理由・算出方法	指標(単位)	選定理由・算出方法
3.住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備	■本道のすべての市町村に総合型地域スポーツクラブを設置(179市町村)	(現状(平成24年度)) 総合型地域スポーツクラブ設置市町村 105市町村(58.6%) 144クラブ	該当なし	—	■総合型地域スポーツクラブが地域住民を対象として行うスポーツイベント等の開催数(回)  【選定理由】 地域スポーツの担い手として期待される総合型地域スポーツクラブの活動の充実度を示す数値であることから、この指標を選定。	■総合型地域スポーツクラブの会員数(人)  【算出方法】 総合型地域スポーツクラブでクラブ会員以外の地域住民を対象として開催するスポーツ教室やスポーツイベントの回数。  【選定理由】 総合型地域スポーツクラブは、生涯にわたってスポーツに親しみ楽しむことが出来る環境づくりにつながるものと考えられることから、目標項目として選定しました。	■総合型地域スポーツクラブの設置率(41市町村)(%)  【算出方法】 「平成24年度総合型地域スポーツクラブ活動状況調査」によると、沖縄県における総合型クラブは、26市町村で43クラブが創設されている。その全41市町村に対する設置率は63.4%となっており、全国平均約68%とほぼ同水準にある。また、総合型クラブの育成数は58クラブで、全市町村に対する育成率は80.5%となっている。	■総合型クラブの設置率(41市町村)(%)  【算出方法】 「平成24年度総合型地域スポーツクラブ活動状況調査」によると、沖縄県における総合型クラブは、26市町村で43クラブが創設されている。その全41市町村に対する設置率は63.4%となっており、全国平均約68%とほぼ同水準にある。また、総合型クラブの育成数は58クラブで、全市町村に対する育成率は80.5%となっている。	■総合型クラブの設置率(41市町村)(%)  【算出方法】 「平成24年度総合型地域スポーツクラブ活動状況調査」によると、沖縄県における総合型クラブは、26市町村で43クラブが創設されている。その全41市町村に対する設置率は63.4%となっており、全国平均約68%とほぼ同水準にある。また、総合型クラブの育成数は58クラブで、全市町村に対する育成率は80.5%となっている。	該当なし	—	
	■県立学校体育施設開放事業の年間延べ利用者数(人)	—	—	■県立学校体育施設開放事業の年間延べ利用者数(人)  【算出方法】 県立学校体育施設開放事業によって施設を利用した年間延べ利用者数。  【選定理由】 既存の体育施設の活用状況とともに、県民のスポーツへの参加状況を示す数値であることから、この指標を選定。	■県営スポーツ施設年間利用者数(人)  【算出方法】 県立学校体育施設開放事業によって施設を利用した年間延べ利用者数。  【選定理由】 既存の体育施設の活用状況とともに、県民のスポーツへの参加状況を示す数値であることから、この指標を選定。	■県民が利用しやすい県営スポーツ施設の環境づくりに県が取り組んだことの効果を示すことができると考えたことから、目標項目として選定しました。	■総合型クラブ育成数(創設準備中も含む)	—	—	—	—	—
4.国際競技力の向上に向けた人材の養成やスポーツ環境の整備	■より多くの本道出身選手が夏季・冬季オリンピック競技大会等に出場し、活躍をする(人)	(参考) 冬季(2010バンクーバー) 54人 夏季(2012ロンドン) 13人	■国内外のひのき舞台で活躍できるアスリートを育て、特にオリンピックにおいて夏季5名・冬季5名の本道出身選手の輩出を目指す。  【選定理由】 体格に恵まれ運動能力の高い児童生徒が多いといわれる本県において、その能力を十分に開花させ、秋田から日本、そして世界で活躍できるアスリートを育成し、将来的に指導者等としてその力を秋田に還元するといった循環型強化スタイルを確立することが、スポーツ王国秋田の実現につながるものである。	■国際大会における8位以上の年間延べ入賞者数(人)  【算出方法】 本県ゆかりの選手やチームが、国際大会において8位以上で入賞した人数。対象は国民体育大会正式種目である40種目とする。  【選定理由】 本県の選手やチームの競技力の向上を示す数値であることから、この指標を選定。	■国民体育大会男女総合順位(位)  【算出方法】 国民体育大会における男女総合順位(天皇杯)の順位。  【選定理由】 本県の選手やチームの競技力の向上を示す数値であることから、この指標を選定。	■国民体育大会男女総合順位(位)  【算出方法】 国民体育大会における男女総合順位(天皇杯)の順位。  【選定理由】 本県の選手やチームの競技力の向上を示す数値であることから、この指標を選定。	■国民体育大会男女総合順位(位)  【算出方法】 国民体育大会における男女総合順位(天皇杯)の順位。  【選定理由】 本県の選手やチームの競技力の向上を示す数値であることから、この指標を選定。	■国民体育大会男女総合順位(位)  【算出方法】 国民体育大会における男女総合順位(天皇杯)の順位。  【選定理由】 本県の選手やチームの競技力の向上を示す数値であることから、この指標を選定。	■国民体育大会男女総合順位(位)  【算出方法】 国民体育大会における男女総合順位(天皇杯)の順位。  【選定理由】 本県の選手やチームの競技力の向上を示す数値であることから、この指標を選定。	■国民体育大会男女総合順位(位)  【算出方法】 国民体育大会における男女総合順位(天皇杯)の順位。  【選定理由】 本県の選手やチームの競技力の向上を示す数値であることから、この指標を選定。	■国民体育大会男女総合順位(位)  【算出方法】 国民体育大会における男女総合順位(天皇杯)の順位。  【選定理由】 本県の選手やチームの競技力の向上を示す数値であることから、この指標を選定。	■国民体育大会男女総合順位(位)  【算出方法】 国民体育大会における男女総合順位(天皇杯)の順位。  【選定理由】 本県の選手やチームの競技力の向上を示す数値であることから、この指標を選定。
	■国民体育大会における男女総合成績(天皇杯)の順位	—	—	—	■国民体育大会における男女総合成績(天皇杯)の順位	—	—	—	—	—	—	—

■先進自治体の調査結果一覧表【評価指標】

参考資料3

■ :アウトプット指標と考えられるもの  
 ■ :アウトカム指標と考えられるもの

スポーツ基本計画 における施策 (政策課題)	北海道		秋田県		埼玉県		三重県		沖縄県		川崎市	
	指標(単位)	指標の対象・参考値	指標(単位)	選定理由・算出方法	指標(単位)	選定理由・算出方法	指標(単位)	選定理由・算出方法	指標(単位)	選定理由・算出方法	指標(単位)	選定理由・算出方法
5.オリンピック・パラリンピック等の国際競技大会等の招致・開催等を通じた国際交流・貢献の推進	該当なし	—	該当なし	—	該当なし	—	該当なし	—	該当なし	—	該当なし	—
6.ドーピング防止やスポーツ仲裁等の推進によるスポーツ界の透明性、公平・公正性の向上	該当なし	—	該当なし	—	該当なし	—	該当なし	—	該当なし	—	該当なし	—
7.スポーツ界における好循環の創出に向けたトップスポーツと地域におけるスポーツとの連携・協働の推進	該当なし	—	該当なし	—	該当なし	—	該当なし	—	■トップアスリート指導者を活用する総合型クラブの割合(%) 【選定理由】 トップアスリート等としての経験を有する優れたスポーツ指導者を総合型クラブ等や学校の体育に関する活動で活用することは、住民及び児童生徒のスポーツに親しむ習慣や態度を高めるに当たり非常に有意義である。しかしながら、トップアスリートを指導者として活用している総合型クラブの割合は29.7%(設立済み43クラブ中37クラブ回答(回収率86%))であり、その活用は十分とは言えない状況にある。	■プロスポーツチームのスポーツクリニック等の開催件数(件) 【選定理由】 地域で活躍するプロスポーツ選手との交流を図り、地域と共存するプロチームとして、県民への認識を高める。 【算出方法】 数値は各クラブチームの資料をもとに集計。	該当なし	—
その他	該当なし	—	該当なし	—	■スポーツに関する施策に対する県民満足度(%) 【算出方法】 本県におけるスポーツに関する施策に満足している県民の割合。 【選定理由】 今後、市町村やスポーツ関係団体、民間事業者等を含め県を挙げて誰もがスポーツ活動に取り組める環境づくりを進めることを目指し、この指標を選定。 ■埼玉県スポーツボランティア制度による活動者数(人) 【算出方法】 埼玉県スポーツボランティア制度に登録している人の中から、スポーツ大会等主催者からの要請に応じて活動をした人数。 【選定理由】 スポーツボランティア制度の普及・拡充を示す数値であることから、この指標を選定。	該当なし	—	■スポーツコンベンションの開催件数(件) 【算出方法】 数値は沖縄県スポーツコンベンション振興協議会「スポーツコンベンション開催実績一覧」による。 ■スポーツアイランド事務局(仮称)の設立 【選定理由】 スポーツコミッション機能及びスポーツイベント主催機能等を有するスポーツアイランド事務局(仮称)を設立し、スポーツ・ツーリズム及びスポーツコンベンションの振興を図り、スポーツ・ツーリズムのメッカ沖縄の国際的ブランド価値を確立する。	該当なし	—		

【出典】  
 ・北海道(2013年)「北海道スポーツ推進計画」、P.20  
 ・秋田県(2012年)「秋田県スポーツ振興基本計画」、P.13,16,20。定量的な目標値が明記されている指標のみを抜粋している。  
 ・埼玉県(2013年)「埼玉県スポーツ推進計画」、P.43  
 ・三重県(2011年)「第7次三重県スポーツ振興計画」、P.37-38  
 ・沖縄県(2013年)「沖縄県スポーツ推進計画」、P.11,17-18,24,31,36-38,41-43  
 ・川崎市スポーツ推進計画」では指標が明記されていないが、上記項目を指標とする旨をヒアリングにて確認している。